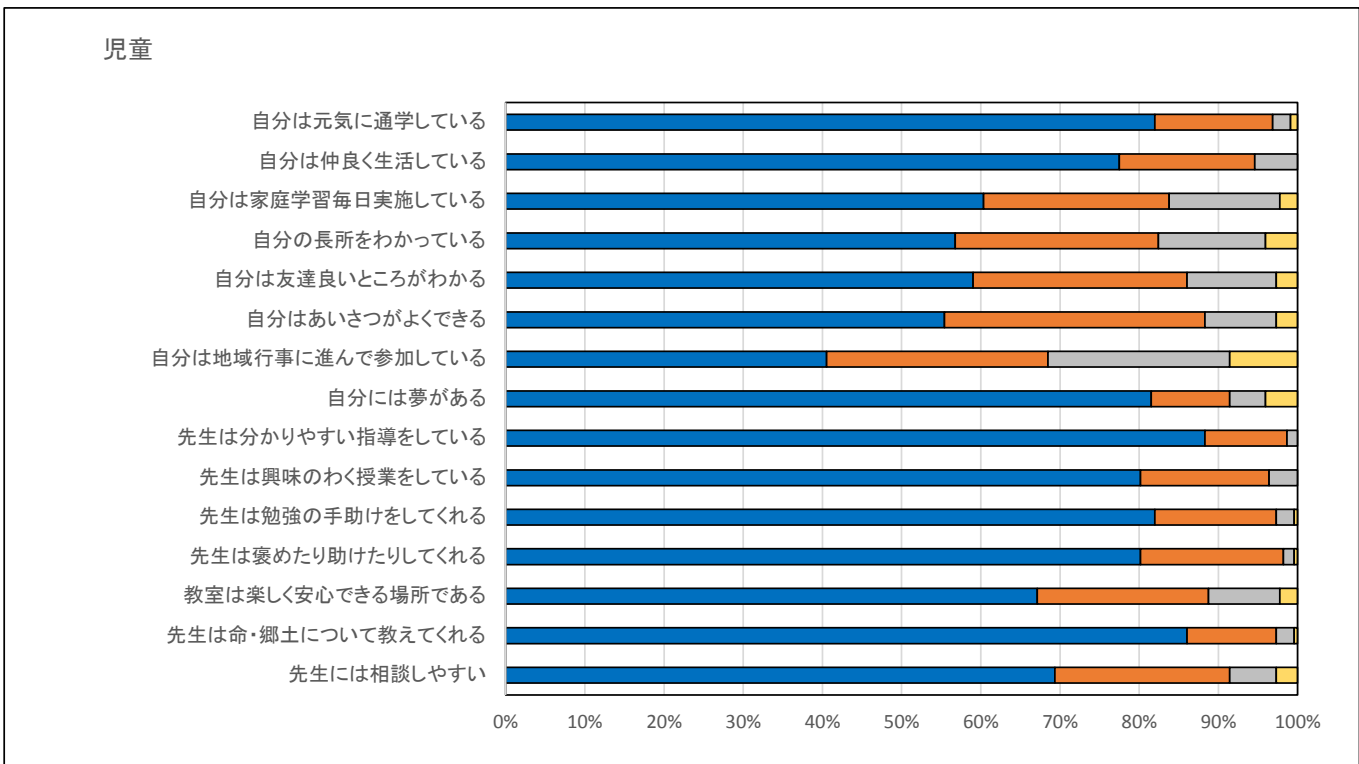
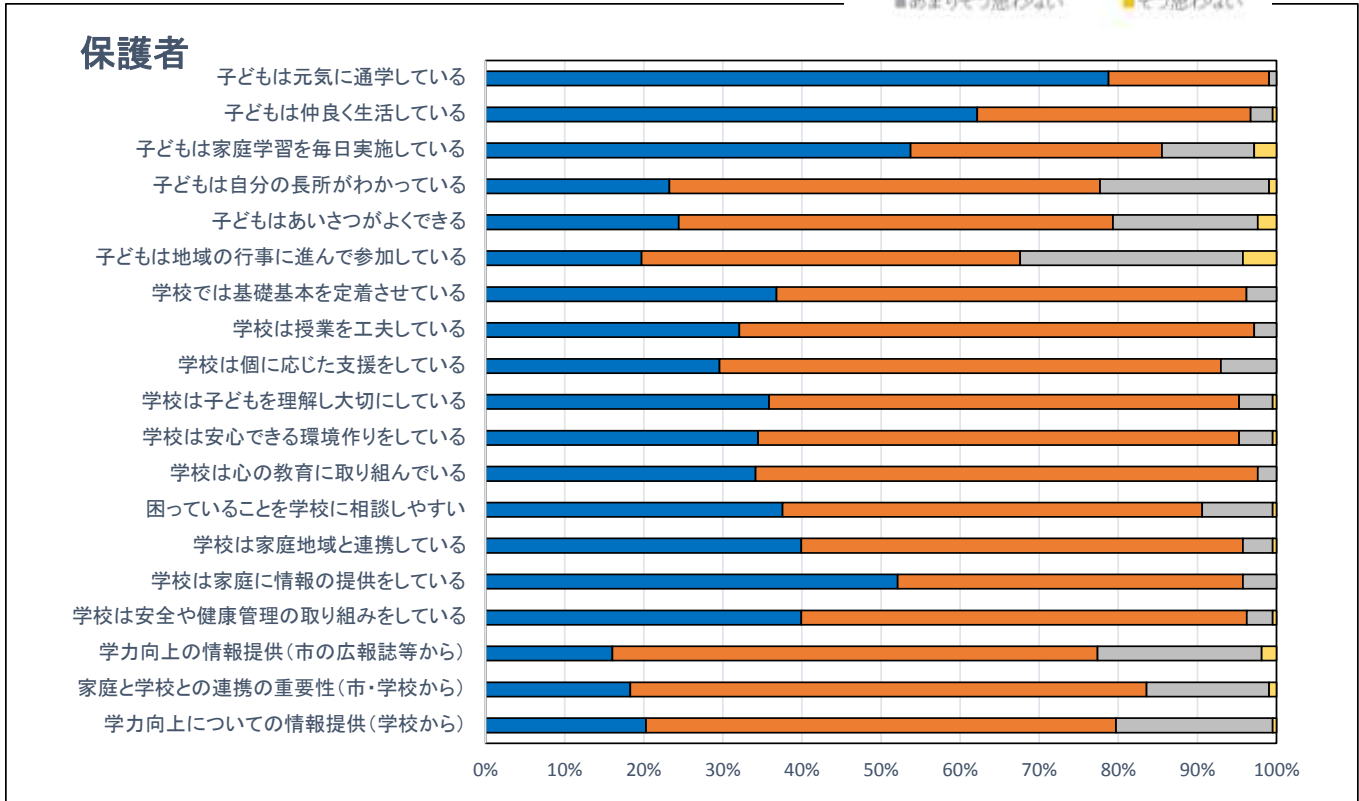
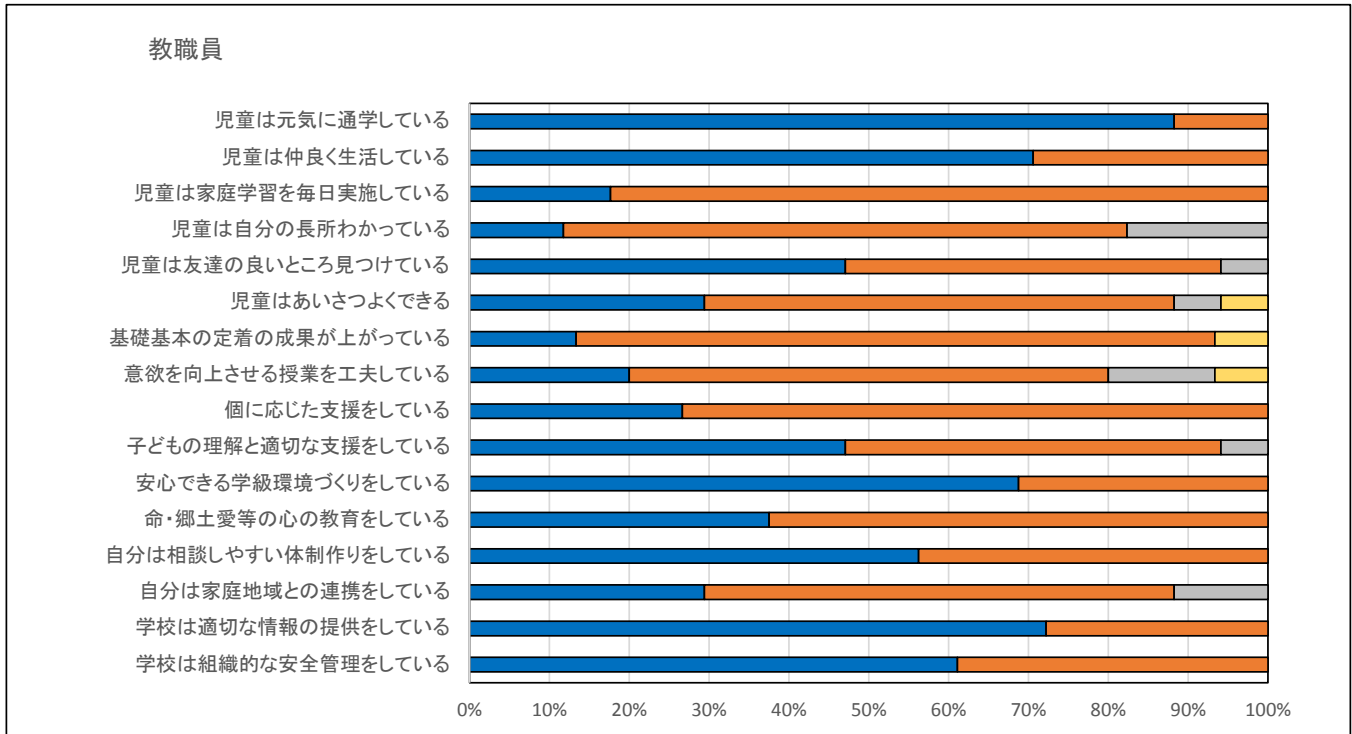


# 3.学校評価(平成29年度 第1回目)

ここでは、7月に実施した平成29年度の第1回目の保護者・児童からの学校評価と教員の自己評価についてお知らせしています。集計の結果から、『そう思う』+『まあそう思う』を【良い点】、『あまりそう思わない』+『そう思わない』を【改善点】と捉え、分けて記述しました。お忙しい中、評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

■そう思う                      ■まあそう思う  
■あまりそう思わない        ■そう思わない





回答に対し、「そう思う」「まあそう思う」を肯定的な意見、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な意見としてとらえました。

【良い点】

- ・児童、保護者、教員とも、「児童は友達と協力し合い、楽しく生活している」「児童は元気に学校に通っている」に対し、肯定的な意見が高い割合を示しています。
- ・保護者アンケートの「基礎・基本の定着」は、児童アンケートの「分かりやすい授業をしてくれる」にあたります。どちらも肯定的な意見が多くなっています。子どもたちの「わかった!」という笑顔を見るために、今後も授業の改善に取り組んでいきます。
- ・保護者は「情報の提供」についても評価が高くなっています。これは主に学校ホームページによる児童の学校生活の公開を指しているのだと思います。2学期からは、知らせたい場面をタイムリーにお知らせできるように、学級担任の視点からの写真も多く入れるようにしました。
- ・「自分には夢がある」という項目は、今回初めて入れたものです。肯定的な意見が90%と予想以上に多いと感じました。目標に向かって頑張ることは、生き生きとした生活につながります。自分の夢をきらきらした目で話せる子が更に増えて欲しいと思います。

【改善点】

- ・「児童は友達と協力し合い、楽しく生活している」「児童は元気に学校に通っている」の質問に対して、わずかながら否定的な回答があります。学校では日頃の観察や会話はもちろんのこと、生活アンケートや教育相談などとおし、学校生活に不安を感じる子どもたちを知り、気持ちに寄りそうと共に、必要に応じて保護者の方と連携しながらその不安を取り除けるようにしていきます。
- ・「地域行事に進んで参加している」は地域との連携という学校の目標の一部を受けて、昨年度からとりいれました。地域との絆も高松のよさを感じることも、地域に出て地域の人と関わることから始まると考えます。高松地区の行事を積極的に紹介したり、職員も参加したりしながら、子どもたちにとって地域行事を身近に感じ取れるようにしていきたいです。
- ・「あいさつ」については、あいさつをされれば返せるけれど、自分からはできない子がまだ多くいます。あいさつは（地域）社会でできてこそ身に付いたと言えます。学校では、引き続き地域の方の協力もいただき、あいさつ運動を行っていきます。また、気持ちのよいあいさつができる子を称賛し、そのよさが他にも広がっていくように取り組みます。
- ・「学校や生活について、学校の先生に相談しやすい」について、昨年度まで努力項目でしたが、今年度は児童・保護者とも肯定的な回答が昨年度よりも増えています。しかし、学校ではこの項目について、限りなく100%に近づきたいと思っています。今後も、子どもたちには、休み時間や給食時間などで、何気ない会話を交わす中から、先生には何でも話しやすいと感じてもらえるようにしていきます。また、保護者の皆さんとは改まった場ではなくても、気軽にお子さんの話ができるような関係を築いていけるように努めます。